

第26回赤穂市民病院の医療を考える懇談会 議事録

1. 日 時 令和5年1月19日(木) 15時00分～16時05分

2. 場 所 赤穂市民病院 講義室

3. 出席者

(市民団体代表)	赤穂労働者福祉協議会	副会長	木原 信暁
(保健医療関係者等)	赤穂市医師会	会長	渡邊 節雄
	相生・赤穂市郡歯科医師会	副会長・赤穂支部長	赤井 高之
	赤相薬剤師会	理事	山本 義人
	関西福祉大学	事務局次長	末政 圭介
	行政	健康福祉部長	溝田 康人
(赤穂市民病院)	高原院長、林副院長、喜多川副院長兼看護部長、井上副看護部長、高瀬薬剤部長、木村診療放射線技師長、田淵臨床検査技師長、平松総務課長、渡代財務課長兼経営企画担当課長、藤田医療課長、伊東医療計画係長、前田主査、大川主事		

4. 資料事前配布 有

5. 議事

院長より開会あいさつ
委員、病院職員自己紹介

(1) 報告事項

- ①市民病院の現状と課題について
上半期の経営状況について事務局より説明
現状と課題について院長より説明

(2) 協議事項

- ①市民病院をより良くするための意見、方策について
委員

- ① 外来患者数の減少は医師の減少が関係していると思われる。若い医師が長期的に活躍できるように、発信の場を設けたり、教育に力を入れたりするのはどうか。また、訪問診療に力をいれるのも、高齢者の助けになり、若い医師が経験を積むことができるためよいと思われる。
- ② かかりつけ医制度が政府より推進されていることから、市民病院と各開業医間の紹介手順を簡略化できるようなシステムがあればよいと思う。

院長

- ① 外来患者数の減少は医師の減少も影響していると思われるが、軽症や検査のみの場合にかかりつけ医を受診する方が増えたからだと考える。当院と各開業医との役割分担が明確になればなるほど、外来患者数については減少することになる。

また、医師の減少については、医師の専門化が進んだためだと考えている。専門性が高くないとしても幅広い患者を診ることのできる医師に、積極的に来ていただければと思う。

若い医師については、初期研修終了後の専攻医に向けた魅力的なプログラムがあれば、継続して当院に来ていただけるのではないかと考えている。ホームページを見て当院を選ばれた研修医もいるため、継続して情報発信していきたい。

- ② 紹介の対応については医師によって相違があるが、できるだけ敷居を低く、お互いの顔が見える関係にして、紹介しやすい病院を目指して努力していきたい。

委員

地方病院として、救急や入退院に力を入れる経営方針はよいと思った。また、玄関口での職員の声掛けもよいと感じた。

歯科医師会の代表として出席しているが、「入院する前に歯を全部診てもらえないか」という患者が来ることがある。歯は体の健康に密接に結びついていることから、入院中に歯科口腔外科による入院患者の口内の管理ができないか。

院長

手術前や抗がん剤などの化学療法前には必ず口腔のケアをするようにしている。

委員

休日乳がん検診についての広報について、もう少し広範囲に行えないか。

病院職員

今年度は市内の主要施設への貼り紙やLINEを使った広報、ホームページへの掲載を行ったが、より多くの人に周知してもらえるように改善していきたい。

委員

電子処方せんが令和5年1月26日より運用稼働する。メリットとしては、ペーパーレスになる、直近の処方せんが確認できる、重複投薬や併用禁忌のチェックができる、疑義照会の件数が減る等が想定されるが、市民病院では電子処方せん開始に向けた計画や案はあるか。

病院職員

電子処方せんの専用の機械については業者と相談しながら進めているが、開始の目途をはっきりと申し上げるのは難しい。

病院職員

他の医療機関でも電子カルテから電子処方せん発行できるソフトが準備できておらず、導入に多額の費用がかかるため、何も動いていない病院が多い。

委員

休床補償等の補助金について、コロナウイルスが2類から5類になった場合、何が変わるのか。

病院職員

補償や基準等も今のところ未定である。報道で発表されている情報しかないのが現状である。

副院長

2類は結核相当、5類はインフルエンザ相当の扱いとなることから、コロナウイルスが5類になった場合、自宅待機や入院費用が公費ではなく保険診療に変更となり、ワクチンに関しても将来的には自費での接種に変わる可能性がある。

委員

利用したいと思ってもらえる病院には、「きれいで清潔感がある」「近い」「待たされない」等の特徴があると思われるが、職員自ら花壇等の清掃をしたり院内の照明を明るくしたりする活動や取り組みは非常に良いと思った。「近い」「待たされない」という部分について、患者の送迎などの措置はあるか。また、予約について、医師の指示やかかりつけ医からの紹介以外に優先される予約はないか。

病院職員

患者の送迎等を行っていない。医師の指示や紹介以外に優先される予約はなく、当日来院の方については他の予約の後に案内する形になってしまう。

委員

電話やネット予約を対応している病院もあると聞いているが、どうか。

院長

予約に関して、初診では選定療養費がかかるが、かかりつけ医経由であればかからない。かかりつけ医を通して地域医療室で予約を取るのがスムーズだと思われる。

委員

コロナ流行の影響で、少しの不安や軽微な体調不良で病院にかかれる方が減ったことも患者数減少の要因の一つではないかと思う。私自身の意見だが、病院は命を預かるところであり、コスト削減や収入増加などの経営改善が非常に難しいと考えている。そういう意味では病院が赤字となることはやむを得ないのではないかと思う。

院長

適正な保険請求を行い、経営改善に努めます。

副院長より閉会あいさつ